

東傳時々口出府迄也中俄  
是氣也為中途中以難後也  
格致

長崎會所之我も此山に掛  
とあり

新和泉所

大六と申す

大黒巻六之條に申す

之もあはれに身上に著る

大坪本在處に願負ふ

長崎會所之事に於て

富者あり

丁喜

堀留山丁目

丁子屋本在處

是亦元来富商にあり

大六同所にてあり

大坪本在處

此者徳川氏に依りてあり

長崎調役も勸め也此年

甲申勘定より等と同腹

長崎會所之貨金と私に掛

右丁喜大六、委任故由に

勘定所迄、道具屋玉忠と

申す、此屋敷多とあり

取、玉忠と小道具屋長崎

取、一氣、大坪、款家

此中、あり、玉忠と

玉忠七、申す、何れ



昨年申す如く、此れは  
おれのお法、此の如くあるは、  
別位、  
私、  
金、  
買入、  
の、

ゴレヤ人、  
牽、  
以、

兼、  
何、  
支、  
金、  
日、

横、  
先、

町、  
親、  
お、

大隈様